

3 No.226
2006
けねへつ
JA広報



⑩ 計根別小学校の農協企業訪問



⑫ 女性部 牛乳・乳製品料理講習会



① 生乳生産緊急抑制対策
生産者説明会



② 16 深瀬行雄さん(西竹)が
最優秀賞を受賞
北海道乳質改善協議会 第一回乳質改善大賞授賞式



⑫ 22 えふ・すういーる チーズ研修会



⑫ 24 景観づくりネットワーク座談会



⑫ 13 青年部 共済組合勉強会

深瀬行雄さん(西竹)が

最優秀賞を受賞

北海道乳質改善協議会
第一回乳質改善大賞授賞式



北海道乳質改善協議会では、設立五十周年を迎え、優れた生産技術で良質な生乳を継続的に生産され、経営的にも優秀かつ模範的な酪農家とその荣誉を讃えるべく、二月十六日北海道厚生年金会館にて第一回乳質改善大賞授賞式を開いた。

記念すべき第一回の乳質改善大賞には全道から二十二名の酪農家が選ばれ、そのなかでもより優れた成績を収めた当農協の深瀬行雄さん(西竹)を含む六名に最優秀賞が贈られた。



乳協会長から深瀬さんへ賞状の授与



深瀬さんを囲んで纏組組合長と高橋係長

深瀬さんは、消費者に安全で安心な生乳を提供することを目的とした生産環境づくりや品質の両面で高い評価を得ており、良質乳出荷で全道トップクラスを誇る計根別農協のなかでも、その実績は誰もが認めるところである。

授賞式では、深瀬さん自らが「きれいで、美味しい牛乳を搾っています」というタイトルで記念講演を行い、乳質や景観づくりに取り組む事例が発表された。

最後は、乳質改善大賞受賞者二十二名を代表して深瀬さんから、「より良い生乳生産で、今以上に消費が増える事を願います」との謝辞が述べられ、乳質改善への意気込みと最優秀賞受賞に対する喜びや感謝の気持ちが伝えられた。



受賞を代表して深瀬さんが謝辞



乳質改善大賞を喜び、参会者全員での祝賀会



自らの取り組み事例を発表

危機迫る 緊急事態宣言の発動

生乳生産緊急抑制対策生産者説明会



抑制に対する確認行為をするのか、「前年比で減産数量の基準は決められない。集荷回数の違いも発生する」「超過JA取組数量と全JA取組数量の決定に至る経過を説明して欲しい」などの意見が出され、生産者には一ヶ月早い生産調整の発動に動揺と不安を隠し切れず、険しい表情が続く説明会となった。

飲用乳の消費低迷が続くなか、生乳生産量は依然として増加傾向を辿り、道内生乳処理量は過去最高水準のまま推移している。各乳業では、当日の処理不可能乳が恒常的に発生しており、今後も全国的な飲用不振から道外移出生乳の落ち込みが見込まれ、道酪対、生乳受託販売委員会では「生乳生産に係る緊急事態宣言」を発動した。

このことから計根別農協酪農対策協議会は、この危機的な状況を組合員に周知し、計画生産遵守の徹底を図るべく、三月一日計根別公民館にて説明会を開いた。

説明会には、組合員約一四〇名が参加。開会を告げる纏組組合長は、「今の牛乳が処理できない。この緊急事態に計根別農協では早期乾乳、乳房炎治療を行い、三月で二・七%の生産抑制に努めた」との厳しい現状が話された。また、事務局からは現在の生乳生産状況と生乳処理状況が報告され、緊急的生産抑制対策への取り組みに理解を求める説明がなされた。



生産者として厳しい視点で臨む説明会



2%の生産抑制を求める纏組組合長



予期せぬ生産抑制に不安を抱える生産者

計根別の景観づくりに 理解を求めて

「つなげる景観・つなげる景観」ネットワーク座談会

中標津町、文化的景観検討委員会、NPO法人景観ネットワークでは、地域で景観活動に関わる方々と今までの活動を振り返り、今後の活動を自由に語り合う場を設けようと二月二十四日中標津町総合文化会館にて座談会を開いた。

この座談会には、関係者や中標津町民約四十名が参加。当農協からは酪対技術向上対策委員会田中洋希委員長（養老牛）がパネラーとして出席した。

事例発表では、田中委員長から計根別地域で平成二年度より継続実施している農場審査会の内容が説明され、この取り組みが生産者自らの景観づくりに対する意識を高め、農場内の衛生的環境や環境美化に努める生産現場の実情が発表された。



景観づくりに対する取り組みを学ぶ参加者

会場からは「現場の衛生感が伝わった」「酪農と景観を考えて活動され安心した」「地域の景観情報を提供して欲しい」「視察受入やファームインは可能ですか」などの質問もあり、地域や農業に対して参加者から好感を持たれる事例発表となった。



大型スクリーンで農場審査会の事例紹介



パネラーとして、意見を述べる田中委員長

全道のフレッシュミズが札幌に集結

～第10回JAフレッシュミズ全道交流会集会～



分散会報告と代表者によるパネルディスカッション

一月三十、三十一日、札幌市全日空ホテルにて「第十回JA女性部フレッシュミズ全道交流会集会」が開かれ、当JA女性部からフレッシュミズ会長後藤めぐみさんが参加した。

集会初日は「フレッシュミズの主張北海道予選」で優秀賞を受賞したJA西春別八ピネス部会の日向聡美さんがその内容を発表。その後、JAえひめフレッシュミズ部会長であり、全国女性協議会理事である山下由美さんの講演となり、自分達で立ち上げた工房、今の女性部の現状やJAの問題点等が話された。

講演後は、酪農、稲作、畑作にそれぞれ分かれての分散会。参加者が女性部に入って良かった事、やってみたい事、家族、共生などのテーマで意見が交わされた。

集会終了後は、懇親会が開かれ多くの部員と楽しい時間を過ごす事ができた。

二日目は、家の光協会北海道東北普及文化局局長大竹裕之氏によるフレッシュミズの活動、地域・上との共生についての講演となった。

その後、前日に行われた分散会の報告会となり、この場でも活発な意見が交わされる有意義な研修会となった。



積極的に意見が交わされた分散会

定期積金キャンペーン

なんと！金利上げします！！

こんな積み立て欲しかった!! さっそく始めてみてはいかがですか?



3つのお得な商品
月々5千円から
始められます。

詳しい商品内容、お問い合わせはこちらまで!!
どんな些細な事でもお気軽にご相談ください!!
心よりお待ちしております。

JAけねべつ 金融課
吉川・成戸
TEL 0153-78-2111

- 其の1 旅行積立(期間/2年以上5年未満)
ご家族の心に残る記念旅行などにはいかがでしょうか?
- 其の2 マイカー積立(期間/1年以上3年未満)
ニューマイカー頭金プラン(購入用)、マイカードックプラン(車検用)と2つのプランをご用意いたしました。
計画的に毎月ためてみては?
- 其の3 進学積立(期間/2年以上5年未満)
進学に向けて学費など、かかる大きな費用!!
月々わずかでも積立てすることができれば大きな余裕ができますよね!

優遇金利について	標準金利		設定金利	
	3年未満	0.03%	3年以上5年未満	0.06%
	3年以上5年未満	0.05%	5年	0.08%
	5年	0.05%		0.10%

中途解約については中途解約利率とします。

牛乳・乳製品料理で消費拡大を

～ J A 計根別女性部料理講習会 ～



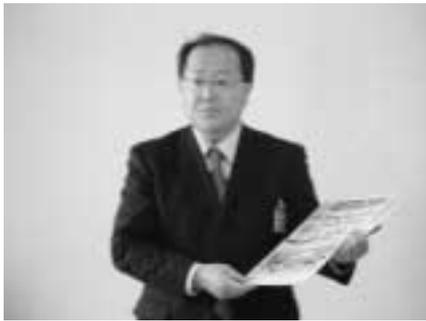
Aコープ片野さんによる秋鮭調理の実演

女性部では、牛乳・乳製品を使った料理を学び、消費拡大に努めようと二月二十二日中標津町交流センターにて料理講習会を開いた。

講習会には、フレッシユや青葉会から二十名の部員が出席。ジョイライフ、ホクレンパールライス、農協Aコープから講師を招き、様々な食材を取り揃えられての料理講習会となった。

調理の時間を迎えるとAコープの片野さんから秋鮭の扱い方を学び、参加者全員で切身にした秋鮭の石狩ミルク鍋、チーズを使った「生春巻」や「サラダ」などの準備が進められた。

その後は、出来上がった料理を囲みでの試食会。部員で調理したもの以外にジョイライフで用意した食材（焼き鳥、ピラフ、煮物、ケーキ）



ホクレン吉田課長によるジョイライフPR



もう少しで試食の時間。我慢、我慢



魚の包丁さばきに不安？な視線を送る参加者

ホクレンパールライスの道産米試食PRもなされ、とても豪華な試食会に参加者からも大好評となった。

最後に、この講習会をキツカケとして道産米や牛乳・乳製品料理が少しでも多く皆様の食卓に普及されることを期待します。



試食会ではジョイライフのパンフレットを片手に会話も弾みました



パールライス四辻さんの道産米PR



作り方【調理時間30分】

- 1 サケは一口大に切る。(塩サケの場合は、一晩、日本酒につけて塩けを抜く。) ダイコン、ニンジン、白菜、生シイタケ、春菊は、真ん中を切り、長半ばは斜め切りにする。コンニャクは手でちぎり、長半ばは斜め切りにする。合わせミソは、材料を合わせておく。
- 2 鍋にだしとダイコン、ニンジンをいれて火にかけ、野菜が半分盛りやわらかくなったら、鮭を加えて、10分ほど煮こんでから、白菜、豆腐、コンニャク、シイタケを加える。(途中でアツをとる。)
- 3 2の中に牛乳を加えて、煮める程度に火を通し、合わせミソを混ぜ入れる。
- 4 3に長半ばと春菊を加え、沸騰直前に弱火にして食卓で温めながらとり分け、好みで粉きんしょうまふっけていただく。

※牛乳とミソを加えてから煮たてないこと。



富士 開拓農協では参事が対応



地域組合員 3 戸が共同で建設している
フリーストール



牛舎建設現場を視察する参加者



店頭に並んだ独自のブランド牛乳



開拓農協の直売店前で記念撮影

地区青協では、本年度も府県における酪農の先進地事例を視察し、農水省や全中との意見交換会により近年の酪農情勢を学び、生産現場における現状を伝えようと二月一日～三日に幹部研修会を開いた。

研修会には各JA青年部から部員二十名が参加。当青年部から久保拓伸くん（上標準）が参加した。

研修会は、静岡県にある富士開拓農協を視察。ここでの地域概況は、酪農家戸数六十四戸（内フリーストール・パーラー二十三戸）。草地面積は約一、〇〇〇ha（内採草地七五〇ha）。生乳生産量は年間で約三〇、〇〇〇t、成牛飼養頭数四、一五四頭となっていた。糞尿処理に関しては、管内五ヶ所に堆肥生産組合が設置され、近代的な施設で堆肥を生産し管外へ流通していた。

この地域の特徴は、生産生乳の大半が

農水省に生産者としての切実な思いを伝えて...

根室地区青年部連絡協議会幹部研修会

上標準支部 久保 拓伸

飲用乳として販売されているところであり、牛乳の消費率が生産を上回り、十八年度についても生産調整は実施しないとのことだった。また、近年は消費者の食に対する安心・安全志向も高まり「放牧牛乳」と銘打った商品開発がなされ、放牧主体の経営形態に復活の兆しが見えてきた。

その後、農林水産省を訪問し、最近の酪農情勢についての意見交換会となった。参加者はこの日のために事前学習会を行い、今後の施策・政策を熱心に学び、農水省他との意見交換会に臨んだ。

意見交換会では、生乳の需給動向他の説明を受け、新年度から実施される次期生乳安定生産対策や酪農飼料基盤拡大事業に話題が集中した。特に、補助金交付にあたり、その事業要件を満たす内容についての質疑が多く、生産者としての切実な思いが伝えられた。



農水省との意見交換に臨む参加者



少し緊張した表情の久保拓伸くん（左）

地域農業の抱える課題を学び、新たな仲間と交流を深めて

地域農業・組合員リーダー育成研修会



計根別農協では、地域農業とJAグループ組織の活性化が求められるなか、組織リーダーとしての役割を学ぶことを目的として、二月八～十日JAカレッジにて開催される研修会へ青年部員二名の参加を要請した。

青年部としても組織的に地域リーダーの養成には積極的に取り組んでいるところであり、岡崎知暢くん（大成）と株田悠介くん（養老牛）二名の参加を決めた。



JAカレッジ前で株田くん(左)と岡崎くん(右)

研修会初日は、JA運動、北海道農業の課題とリーダーについての講義を受けた。二日目は、農畜産物の付加価値や地域農業振興など充実した内容での研修会となった。最終日には、相互討議の時間を設け、受講生三十二名を六グループに分けての討議・発表が行われ、目的の明確化、みんなの意見を聞く、意見を総合して動く、全員で動き、喜びを得るなどの意見集約がなされグループ発表を終えた。

最後に、研修会に参加した二名の部員は、農協事業や地域農業に求められるものなど農業を取り巻く様々な課題を学び、さらには、道内の各JAから参加した受講生との親睦も深まる有意義な研修会となったようです。

牛の立場になり、チヨットした飼養改善で、疾病の抑制を...

共済組合との勉強会

青年部では、乳牛の疾病に対する知識を深めることを目的として、大成・本別支部の担当により二月十三日ふぁーまつく会議室にて共済組合との勉強会を開いた。

勉強会には、部員三十六名が出席。共済組合佐久間獣医師を講師として招き、「乳牛の疾病予防と早期発見」と題して、疾病に対する基礎知識を学び、その症状に合わせた対応策が話された。

また、当日は佐久間獣医師の他に四名の獣医師が同席。各獣医師から「クローズアップ期の食い込みが疾病に大きく関係している」「牛の立場になって、チヨットした飼養改善で疾病を減らそう」と診療現場を踏まえた獣医師からの指導を受けた。

その後、五名の獣医師を囲んでの親睦会となり、雑談を交えながら乳牛の疾病や診療現場での裏話などで会話も弾む有意義なものとなった。



会場狭しと部員36名が参加した勉強会



講師を務めた佐久間獣医師



真剣に講義を受ける参加部員

THE FRIEND CONNECTION

佐藤 広光(養老牛支部)
S39.7.11生 41歳

- Q 1 . あなたの趣味は ?
A 1 . 釣れない魚釣り
Q 2 . あなたの特技は何ですか ?
A 2 . 牛舎掃除 !!
Q 3 . 好みの女性は ?
A 3 . 優しい人
Q 4 . 将来の目標は ?
A 4 . ゆとりある酪農経営
Q 5 . あなたの夢は何ですか ?
A 5 . 家族で海外旅行に行きたい。2年に1回 ?
Q 6 . 友達を紹介してください
A 6 . 影山健一くんです。
Q 7 . なぜ影山くんを選んだのですか ?
A 7 . これからも活躍が期待されるから...



シリーズ第24弾 逸品館



“たまごっち”



今月の逸品館は、子供たちの間で大人気の“たまごっち”の紹介です。

たまごっちは、平成になって衝撃的なデビューを飾り、大人から子供まで年齢を問わず幅広い人気を集めた商品です。このたまごっちも時代の流れとともに進化を続け、自分の知る限りでは少なくとも5～6回のモデルチェンジがなされています。今では通信機能まで搭載され、小学生の大半がたまごっちを首からぶら下げ、友達と一緒に遊ぶ姿をよく見かけるようになりました。

そこで、先月ある組合員宅で“たまごっちコレクター”がいるとの情報を入手。自慢のたまごっちの撮影に協力して頂きました。オーナーは「子供たちが学校のおときは、お世話を任されるんですよ。たまごっちにピーピー呼び出されてもう大変!!」と話していました。

今後も根強い人気が予想される“たまごっち”。子供たちとともに元気に育ってくれることを期待します。

徹底した品質管理と 低コストで供給される 肥料の製造工程を学んで

青年部、購買事業部肥料学習会

青年部と農協購買事業部では、部員（若年層）に肥料の基礎知識を学んでもらおうと二月二十三日ホクレン釧路肥料工場にて肥料学習会（初級編）を開いた。

講習会には、肥料工場に興味を持つ部員十二名が参加。ホクレン担当者により肥料製造工程の説明を受け、工場内を視察した。施設内では、原料の受入から肥料がバッグに詰められるまでの一連作業を見学。肥料の袋詰め以外は全て機械化が進み、近代的な設備で効率よく製品が製造され、徹底した品質管理のもと原料や製品が道東方面に出荷されていた。

工場を視察した部員は、「これだけ大きな施設を十五、十六人の従業員で動かし、施設も綺麗に管理されていたのには驚きでした」と工場視察の感想が話され、オートメーション化によりコスト低減と作業効率を高める企業の実態を知る貴重な研修会となった。



唯一手作業となる袋詰め作業の見学



広い工場内はヘルメット着用での見学



肥料工場の概要説明を聞く参加者

近親交配を避け、 優良な牛群づくりを目指す

白黒通信

計根別乳牛改良連合会

計根別乳牛改良連合会では、近親交配を避けるための対策を学ぼうと二月六日ふあーまつく会議室にて講習会を開いた。

講習会には、乳改良連会員十四名が参加。酪農課金野係長を講師として招き、近親交配の功罪や係数を学び、その対策として登録の推進やデータの活用方法などが説明された。

その後、昨年十一月に行われた全国共進会の視察報告会となり、会場で収録されたDVDが上映され、全国から選抜された乳牛に参加者の視線は釘付けとなった。

さらに、視察に参加した岡崎知暢くん（大成）、苅田憲幸くん（大成）の両名から「全共のスケールの大きさに感動しました。自分の牛群も全国レベルに少しでも近づきたい」と視察の感想が話され報告会を終えた。



全共のDVDを鑑賞中!! 全国からの出品牛に熱い視線



近親交配回避を呼びかける金野係長



近親交配に対する知識を高めた参加者



自らの牛乳でストリングチーズづくり

えふ・すういーるでは、自らが搾った牛乳を使ってストリングチーズづくりにチャレンジしようと二月二十二日中標津町加工研修センターにてチーズ研修会を開いた。

当日は、メンバーの四名が一〇〇kgの牛乳を持ち込み、約四時間の作業工程によりストリングチーズづくりが進められた。作業も大詰めを迎えた頃、熱湯に漬けられたチーズを調理し、軽い火傷を負うなどのアクシデントもありましたが、自分の牛乳がストリングチーズになっていく過程と自らの手でつくる楽しみを学んだ研修会となった。

最後は、美味しく出来上がったストリングチーズにメンバーも大満足。それぞれの自宅でチーズを囲んで、研修談話とチーズの試食で楽しい晩餐になったと思います。



研修センター河口氏の指導によりストリングチーズづくりにチャレンジ



チーズよりも熱湯との戦いとなりました



慣れた？包丁さばきで作業も順調

BCSを学び、

飼養管理技術の向上を...

えふ・すういーるでは、乳牛のポデリーコンディションスコアを学び、泌乳ステージごとの適正な飼養管理に努めようと一月三十一日小西牧場（大成）、農協和室にて飼養管理学習会を開いた。

学習会には、メンバー五名とJA中標津から竹村さん（女性後継者）が参加。講師にはホクレン中標津支所の金内氏、宮脇氏を招きBCSをメインとした乳牛の飼養管理技術の講義を受けた。BCSの見方やスコアリングについては小西牧場の協力を得て、牛舎内で実際に乳牛に触れ、スコアリングのポイントを学んだ。その後、農協和室に会場を移し、泌乳期や乾乳期に分けた牛群管理や栄養面での指導を受けた。

参加者からは「BCSをコントロールする飼料給与方法は？」「カウトレーナーの効果とは？」「分娩後に疾病が多い理由は？」などの質疑があった。

最後に、講師の二人は二月十日つけで転勤となり、計根別農協管内では最後の講習会だったと思います。今後は、少し寂しくなりますが、転勤先でも二人の活躍を期待しております。金内さん、宮脇さん本当にありがとうございました。



講師：宮脇氏（左）と金内氏（右）



小西牧場でBCSを学ぶメンバー



事務所ではBCSの再確認と飼養管理を学んで

農協のお仕事を学び大満足の子供たち



牛乳検査室では何を教えてもらいましたか？



消流センターでは可愛い子牛たちとご対面



牛乳消費拡大キャンペーングッズに大喜びの子供たち



会議室では農協事業全体のお話しを

二月十日、計根別農業協同組合に計根別小学校4年生の子供たちが企業訪問に訪れた。

この企業訪問も例年行われていますが、地元企業である農協がどのような仕事をするのか？子供たちにはとても興味深いものがあるようです。事業内容の説明に移ると複数の職員が事業毎に判りやすい説明で親切、丁寧に対応した。

その後は、農協事務所内、ふあーまつく、消流センターなどを見学。売り場に陳列された購買品や子牛の飼育された牛舎などを見て、農協の仕事を少しでも理解してくれたことと思います。

最後は、農協から牛乳消費拡大キャンペーングッズが配られ、ファイルケースやシールを片手に大満足の企業訪問となった。

寒さに負けず、元氣一杯の滑りを披露

計根別小学校スケート大会

計根別小学校では、子供たちに冬の間の体力づくりを目的として、毎年恒例となるスケート大会を二月六日小学校スケートリンク場にて盛大に開いた。

当日の天候は晴れ、寒さが厳しいものの絶好のスケート日和となった。スケートリンクも一月上旬に設置され、子供たちのために教員や父兄が昼夜を問わず管理作業を進め、最高のリンクコンディションで大会を迎えた。

子供たちは、この日のために冬休みから猛練習、寒さを吹き飛ばす勢いで大会に臨み、それぞれが目標タイムを掲げ、記録更新に向けて元氣一杯の滑りを披露した。

また、会場には子供たちを応援する父兄や家族連れが多く、さらには計根別幼稚園の園児からも可愛い声援が絶えず、スケート大会を大いに盛り上げた。



子供たちの滑りを見守る父兄



レベルの高い競走に大人もビックリ!!



ス～イス～イとマイペースな2年生



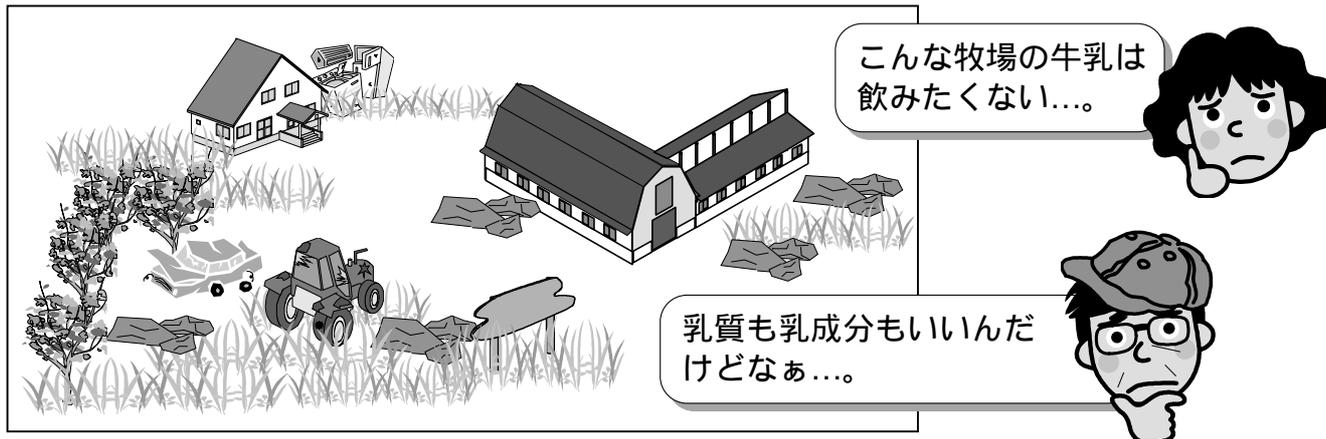
ウォーミングアップ完了!!

良質乳生産地域にふさわしい 農村景観づくりを!



根室管内は全道でも有数の良質乳生産地域です。生産者として最も大切な「中身」である乳質が優れていることは、酪農地帯として誇るべきことです。

しかし、消費者が抱く第一印象は外見（景観）に左右される場合が多いのです。ゴミや不要な廃材・農業廃棄物などが農場周辺に放置されていると、その地域の酪農に対する消費者のイメージダウンは免れません。牛乳という商品のイメージアップに結びつく農場の環境づくりを目指しましょう!



雪がとけたら、できる
ところからやろう!

農場周辺を整理整頓して
効率よく農作業にとりくめるような
環境を整えれば、生産性もUP!



農機具の収納

きちんと収納し、手入れを行えば機械も長持ちします。

倉庫・車庫などの整理整頓

生産資材の適正な在庫管理でロスを失くしましょう。

ゴミや不要な廃材の整理、農業廃棄物の適正な処理

壊れた機械や廃材は、回収するまで一カ所にまとめて置きましょう。

花壇の整備

花苗の定植にむけ、床土の準備をしましょう。

定植一ヶ月前には掘り起こし、堆肥を入れます。

畜舎排水の適正な処理

**計画を立て、毎年少しずつでも
実行しましょう!**

まずは、家族みんなで話し合い、計画を立ててみましょう。
「どんな農場にしたいのか」という目標にむけ、労力や経費を考慮し優先順位を決めて取り組むことが大切です。

【年次別計画例】

区分	環 境 内 容	年 次 別 計 画			
		1～2年	3～4年	5～6年	将 来
生 活	・花壇の造成、植樹				
	・芝生の造成				
生 産	・生活道の整備及び住宅の整備				
	・パドックの整備				
	・牛舎内及び周辺の整備				
	・農機具庫の整備				



交通安全情報 No.7

平成18年2月10日
中標津警察署

～めざせ 安全で安心な車社会 北海道～

スリップによる交通死亡事故を防止するために

本年に入り、冬型事故が多発し、昨年より2人多い12人が死亡しております。(2月10日午前10時現在)

そのほとんどが、国道の郊外部で、ハンドル・ブレーキ操作を誤り、スリップして、正面衝突したものです。

【スリップによる死亡事故の発止状況】

		平成18年10人	平成17年9人
6時～12時		5	7
金～日曜日		6	5
国	道	6	5
郊外	直線	2	4
	カーブ	5	2
正面衝突		10	8
若年者(25歳未満)		2	3
操作不適		9	7
1当車種	普通乗用	5	7
	軽乗・貨	3	2
	大型貨物	2	
A B S 装着車		6	5

		平成18年10人	平成17年9人
1当駆動方式	4WD	7	4
	F F	2	4
	F R	1	1
2当車種	大型貨物	3	1
	普通貨物	2	5
	普通乗用	4	2
	その他	1	(外単独1)
天候	晴れ	4	4
	曇り	4	4
	雪	2	1
路面	積雪	1	4
	凍結	9	5

単位：人

▲ 冬道ではこんな点に注意をしましょう ▲

- 対向車の接近にあわてると？
不用意なハンドルやブレーキ操作により、スリップとなります。
- 橋、高架道路、トンネル出入り口付近では？
橋は上下から冷やされ、また、トンネル出入り口付近では、日陰になっていたり解けた水がトンネル内で凍り部分的に凍結していることがあり危険です。
- わだちや凹凸のある道路では？
ちょっとしたハンドル操作でタイヤがわだちに取られたり、急に横滑りやスピンをすることがあります。
- 4WDだから安全では？
スリップ事故に4WDは関係ありませんので過信は禁物です。



なにはともあれスピードダウンと早めのじわっとブレーキを

酪農ヘルパー全国協会会長表彰受賞

組織、人材育成に努め、全国的にも先駆的な活動が高く評価され

有限会社ファム・エイ

酪農ヘルパー事業の推進を図り、組織や人材の育成に努め、全道・全国的にも先駆的な活動が高く評価され、有限会社ファム・エイの臼井勝也社長が昨年十二月十三日(社)酪農ヘルパー全国協会会長表彰を受賞した。

この荣誉ある受賞を祝して、ファム・エイを利用する三J A酪農ヘルパー利用組合が発起人となり、一月三十一日ウエディングプラザ寿宴にて祝賀会を盛大に開いた。



会長表彰の受賞に臼井社長からの謝辞



祝賀会では臼井社長ご夫妻に花束の贈呈

祝賀会には、根室支庁や中標津町などの行政機関、ファム・エイを利用する各J A、利用組合の関係者など約三十名が出席した。

臼井社長の謝辞では、「各農協の力添えがあつて初めて出来た仕事です。今後も一生懸命取り組んでいきたい」と話した。

ファム・エイは、平成元年設立以来、農休日取得やゆとりある酪農経営を目指して、ヘルパー事業に積極的に取り組み、地域や利用者からも評価は高く、今後もファム・エイの更なる活躍に大きな期待が寄せられた。

NHKがスノーモービルを本別地区で取材



取材に応じる佐藤恵二さん(本別)とメンバー

この季節に大人から子供までが夢となる冬のモータースポーツ「スノーモービル」の撮影にNHK釧路放送局が三月一日佐藤恵二さん(本別)宅を訪れた。

当日は、先日の雨で雪も激減、畑の草も顔を出すほどコースコンディションは悪く、関係者も不安を抱えての取材となった。しかし、撮影のスタンバイをするメンバーは悪路も気にせず、元気一杯の滑りでNHK放送局の期待に応えた。取材では、メンバーを代表して佐藤さんが少し緊張した口調でスノーモビルの醍醐味を伝え、正しい運転技術などが説明されていたようです。

この日の映像は、三月八日午後六時四十五分からの「タンチョウてれび」で放送される予定です。



大空高く舞い上がる高校生ライダー



時には激しいバトルで競い合う場面も



ゼッケンの色に隠された名誉あるライセンス

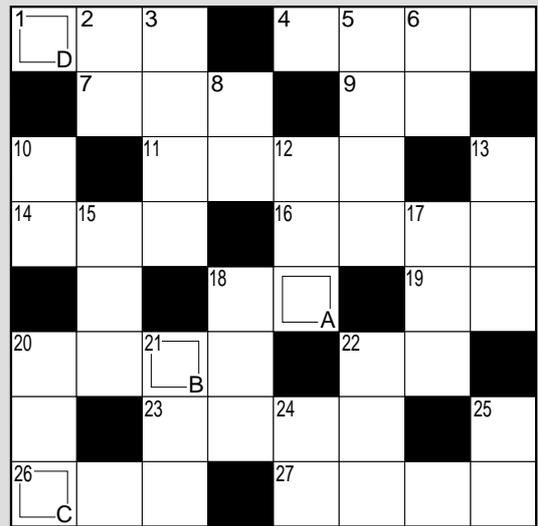
【タテのカギ】

- 2 学級
- 3 第一日
- 5 朝食を兼ねた昼食
- 6 すぐ近く
- 8 風 火山
- 10 地味
- 12 地方の酒
- 13 食物の味
- 15 円、折れ線、棒
- 17 夜にする仕事
- 18 ミッドナイト
- 20 行進曲
- 21 山本有三の「真実」
- 22 物事を気につけない性格
- 24 春の七草のひとつ
- 25 旅館やホテル

【ヨコのカギ】

- 1 土筆と書く
- 4 あんまり寝てません
- 7 親類
- 9 馬とロバの雑種
- 11 カレーに入れる赤い野菜
- 14 ここからは入れません
- 16 劇団のリーダー
- 18 海が荒れること
- 19 中くらいの程度
- 20 朝食用の小型のパン
- 22 金の 棒
- 23 抹茶をかき回す竹製の道具
- 26 ビオラの次に大きいパイオリン型の弦楽器
- 27 液体

クロスワードパズル



● 正解者 5 名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

【応募方法】 左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、企画課まで F A X（78-2556）お願いします。

【締め切り】 平成18年 3月20日まで
 当選者の発表は「けねべつ」4月号誌上

クロスワードパズル2月号の答え **ウンダメシ**

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
 すてきなプレゼントを差し上げます。企画振興係でお受け取り下さい。

後藤ゆき糸さん 唐崎富美子さん 小林 美咲さん
 太田 隼樹さん 加藤美智代さん



きりとり線
**クロスワード
 パズル**

住 所 _____

氏 名 _____

T E L _____

答 え

A B C D

きりとり線

あ と が き

二月は、穏やかで温暖な天候が続く、草地や市街地の雪も驚くほど減り、このまま春の到来を迎えられればと思う今日この頃です。さて、次期生乳安定生産対策も大詰めを迎え、今後の対応が気になるのですが、この先も大きな課題となるのは牛乳・乳製品の消費拡大に尽きると考えます。

先月も広報誌で紹介させて頂きましたミルクパウダー入りシュガーセット（香典返し）を地域に定着させ、消費拡大の一助となることを期待する限りです。青年部や農協も関係組織へ積極的にPR活動を展開しておりますので、組合員皆様も主旨ご理解のうえご協力して頂きますよう宜しくお願い致します。





“かまくら”

農協グラウンドに巨大な“かまくら”が作られました。このかまくらは、職員や組合員、さらには酪農研修生の協力もあり完成したと聞いております。そもそも、かまくらとは雪国ならではの行事であり、雪むろの中に食べ物を持ち込み遊ぶという風習があります。休日には焼肉などで北海道の冬を満喫できることと思います。



編集 / 計根別農業協同組合 総務企画部 企画振興課 企画振興係
発行日 / 平成18年3月1日



二月とは思えないほどの陽気が続き、二度の雨も重なって春も近しと思う今日です。年末年始に積もった屋根の雪もすっきり無くなり、今年は施設の雪害から開放されホッとしているところですよ。

しかし、牛乳の需給事情は非常事態に陥り、予断を許さない状況となっております。飲用向け消費は相変わらず落ち込み、生乳生産は勢いが止まりません。乳業工場の処理能力も限界を超え、パンク寸前となっております。また、

この危機を打開する為に、緊急措置として三月の出荷乳量制限を全道生産者が実行する事となり、当JAも三月の予想乳量から二%程の減産をお願いする事になります。また、新年度四月以降もこの需給状況が続く見込みであ

り、次期対策と一緒に需要に合った生産体制を早急に整えなければなりません。

一日も早い需要の回復に知恵を絞り、努力しながら、この緊急事態を乗り切る為のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

一方、十八年度の補給金単価、限度数量、関連対策等が三月九日にも決定される見通しですが、次期生乳生産対策も含めて生産現場には辛い状況が予想されます。

これまでの経営姿勢を見つめ直し、新たな視点での経営を考えなくてはなりません。家族一人一人が共通認識を持ち、新たな酪農経営を早急に行う事で頂きたいと願っております。

平成十八年三月一日 瀧内 成喜